

化学療法（ＴＣ療法）を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	月日 入院	1日目	2日目	退院 3日目
達成目標	- 化学療法のオリエンテーションを受け理解できる - 分からないことや不安などを医療者に表出し、準備が整った上で治療に臨むことができる - 白血球3000以下、血小板10万以下ではない - 発熱がない（38.0℃以上）	副作用症状が増強した時に、対処方法をとることができ症状が緩和できる		- 退院後の日常生活の留意点が言える - 異常を自覚した場合の対処法が言える
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		【点滴の順番】 ①点滴を開始します *副作用を抑えるお薬を横から注射します レスタミンコーワを5錠内服します ②副作用を抑えるお薬を点滴の横から注射します ③化学療法薬の点滴（3時間） *3クール目まで血圧を点滴投与5分後、15分後、30分後、1時間後、2時間後に測定します ④吐き気止めのお薬を横から注射します ⑤化学療法薬の点滴（2時間） ⑥ ①の残りの点滴を流して終了です 	吐き気止め（デカドロン16錠）を内服します	吐き気止め（デカドロン16錠）を内服します 
検査	入院時に採血があります	特にありません	特にありません	採血があります
活動・安静度	制限はありません	制限はありませんが移動の際は点滴漏れに注意してください	制限はありません	制限はありません
食事	制限はありません	食べられるものを好きな時にとってください	制限はありません	制限はありません
清潔	入浴できます	入浴できます	入浴できます	入浴できます
排泄		- 尿の検査や尿量の測定を行いますので、朝5時からの尿を全て蓄尿機にためてください - 便秘の場合はご相談ください	朝の5時まで尿を蓄尿瓶に溜めてください	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	- 入院生活のオリエンテーションを行います - 初めての治療の時には医師より説明があり、同意書を書いていただきます。看護師からも化学療法法のオリエンテーションを行います。副作用の対処方法についても説明を行います	- 個人差もありますが、吐き気などの副作用症状が出る場合がありますので、異常を感じたらご相談ください - 息苦しさや胸が苦しいなどの異常を感じたらお知らせください	- 退院前に退院指導を行います - 退院後に必要な薬の希望がありましたらお知らせください	- 治療後2～3日後に副作用で、手や足のしびれ、関節痛や筋肉痛が出現することがあります。4～5日後をピークに徐々に落ちついていきます。痛み止めや湿布薬などの処方もできますのでご相談ください - 膝がカクンと力が抜けることがありますので歩くときは気をつけましょう
その他	- 食事の変更ができません *例：お粥希望・パン食希望 *治療のため吐き気が出た場合は、病院の食事を欠食にすることができます	点滴が漏れた場合、点滴の種類によっては皮膚炎や壊死を起こすことがあります。点滴が入っているところが痛い・赤い・腫れている・硬くなっている・点滴の機械の音が鳴るなどの場合はお知らせください		10時退院予定です - 次の外来受診日を確認してください 産婦人科外来（平日8時30分～17時） 0985-85-9332 産婦人科病棟 0985-85-1746